

令和3年度 事業報告書

自 令和3年4月1日
至 令和4年(2022年)3月31日

I. 概要

令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、瞬く間に全世界に感染拡大しパンデミック現象を引き起こすと共に変異を繰り返し、感染力の強いオミクロン株の亜型BA.2に置き換わり2年経った今でも収束に至らず、暫く感染対策の継続が必要かと思われる。世界では地政学上の問題、宇宙サイバー空間対策、経済安保、国際物流問題、国内では自然災害対策、エネルギー事情、事業継続と産業の活性化など、重要課題が存在しています。そのような厳しい環境下、当会が扱う望遠鏡・双眼鏡他は、コンシューマー向け市場、防衛防犯用などの業務用途も回復に向かってきている。

主力のプリズム式双眼鏡の日本からの輸出(出所:2021年財務省輸出入統計、直送含まず)は、数量で約10万個、金額で27億円(前年23億円、平均単価は約2.9万円)、対前年比数量は10%増、金額では18%増と回復に転じた。仕向け地別輸出金額上位5ヶ国の金額順及び平均単価・シェア(カッコ内)は、①米国16億円(3.4万円、60%)、②ドイツ5.3億円(2.6万円、20%)、③オランダ1億円(4.8万円、4%)、④ベルギー0.7億円(1.7万円、2.7%)、⑤イギリス0.7億円(1.7万円、2.6%)、上位5か国で約9割(前年8割)であった。

ISO国際会議及び国内委員会、JIS原案作成委員会は、全てオンライン会議にて対応した。同じくイベントでは8月の経済産業省こどもデー、11月のジャパンボードフェスティバル、2月のCP+2022は全てオンライン開催となったが、ジャパンボードフェスティバルについては、新規にPR動画を作成し双眼鏡の楽しみ方を紹介した。

令和3年度の当工業会各事業の具体的内容について、以下の通り報告する。

II. 事業報告

1. 会議

- 1.1 第45回通常総会:令和3年5月21日(金)、池袋東京セミナー学院にて開催を予定していたが、コロナ禍の影響により書面審議にて決議した結果、議案は全て承認された。なお、懇親会も開催は中止した。

【議案】

- 第1号議案: 議事録署名人選任の件
- 第2号議案: 令和2年度事業報告書及び収支決算書承認の件
- 第3号議案: 令和3年度事業計画書承認の件
- 第4号議案: 令和3年度会費の額及びその納入方法承認の件
- 第5号議案: 令和3年度収支予算書承認の件
- 第6号議案: 代表理事辞任に伴う補欠理事選任の件

- 1.2 賀詞交歓会は令和4年1月15日(金)に開催を予定していたがコロナ禍の影響により中止した。

- 1.3 理事会:新公益法人改革の法律及び定款にもとづき、継続事業報告を実施し進捗を確認した。ただし、コロナ禍の影響により報告及び決議は全て8月までは書面審議にておこなった。

- ①令和3年5月12日(水):第45回通常総会議案審議(令和2年度事業報告&収支決算書)、他。
- ②令和3年8月25日(水):継続事業実施進捗状況報告、財務会計状況、検査業務状況、他。
- ③令和3年11月17日(水):継続事業実施進捗報告、正会員入退会、上半期中間決算、CP+2021他。
- ④令和4年3月23日(水):第46回総会議案審議(令和4年度事業計画&収支予算書)、他。

- 1.4 総務広報委員会:

- ・令和3年10月11日(月):CP+2022への出展可否に関する検討(出展しないことで意見一致した)。
- ・令和4年3月8日(火):令和4年度事業計画&収支予算書の検討、Zoom会議で実施した。

- 1.5 技術委員会:コロナ禍の影響で開催は見送られた。

- 1.6 業界活性化委員会:コロナ禍の影響で開催は見送られた。

2. 会員入退会情報

- 2.1 令和4年3月31日付現在の会員数:正会員数30社(1社増)、賛助会員数8社(1社減)

- ・正会員入会:株式会社エクスペクトラ 令和4年(2022年)1月14日付
- ・賛助会員入会:ハクバ写真産業株式会社 令和4年(2022年)1月14日付
- ・賛助会員退会:手塚光学株式会社 令和4年(2022年)3月31日付

3. 「双眼鏡・望遠鏡歴史展示室関連」

- 3.1 一般社団法人日本写真映像用品工業会様より創立60周年記念クリスタル時計を賜りました。
- 3.2 オリンパス株式会社 オリンパスミュージアム 100年史編纂チーム様より「100 YEARS OF OLYMPUS 100年の歩み」を賜りました。

4. 継続事業報告

4.1 国際標準化規格関連事業 (ISO/TC172/SC4 望遠鏡 (Telescopic Systems))

4.1.1 議長: Mr. Franz Erler (オーストリア)

事務局: DIN, Mrs Dipl.-Ing. (FH) Petra Bischoff (ドイツ)

作業グループ: WG2 (Telescopic devices (望遠装置) が活動中。

Pメンバー (10ヶ国): オーストリア、中国、ドイツ、日本、韓国、ナイジェリア、ルーマニア、ロシア、イギリス、アメリカ (ナイジェリアがOメンバーからPメンバーに移行)

Oメンバー (7ヶ国): クロアチア、フランス、ポーランド、サウジアラビア、スロバキア、スペイン、スイス

1. 活動内容と総括

TC172/SC4は、「光学及びフォトンクス関連の分野のうち、望遠鏡の用語、性能特性、試験方法における規格」を制定する技術委員会であり、1992年10月にサンクトペテルブルグで開かれた第1回国際会議でSC4の活動が始まり、これまでに22件の規格が審議・制定・改正されてきた。またSC1から1件の規格が移管されており、合計23件を所掌している。

参加国は2022年4月現在でPメンバー10ヶ国、Oメンバー7カ国である。そのうち、国際会議に継続的に参加し議論しているのは、ドイツ、オーストリア、ルーマニア、アメリカ、日本の5カ国である。

議長、事務局は当初ロシアだったが、現在は議長オーストリア、事務局DIN (ドイツ) となっている参加国は2021年4月現在でPメンバー9ヶ国、Oメンバー7カ国である。そのうち、国際会議に継続的に参加し議論しているのは、ドイツ、オーストリア、ルーマニア、アメリカ、日本の5カ国である。

議長、事務局は当初ロシアだったが、現在は議長オーストリア、事務局DIN (ドイツ) となっている。

現在、ライフルスコープ、ナイトビジョン関係の用語、特性、試験方法の規格の改正等が提案からDISの各段階で検討されており、今後も議論に参加してゆく。

そのほか、発行済みの規格については、見直しまたは改正が進められており、SC4国内委員会は、投票やコメントはもとより、これらの作業や審議に積極的にに関わり、検討・討議を行なっている。また、必要に応じてこれらのISOをもとにJIS原案を作成し提案している。

4.1.2 2. SC4国内委員会活動経過 (2021.4~2022.3)

(1) 活動概要

・2021年度中に、SC4及びWG2国際会議がそれぞれ1回開催されたが、コロナウイルスの影響によりWeb開催であった。会議の詳細は後述する。国内会議は1回開催した。

・ISO投票は15件 (CD 1件、DIS 6件、FDIS 1件、SR 7件) 投票し、その他コメント招請等1件に対応した。現在FDIS 1件の投票期間中。

・ISO規格では、2021年6月に改訂された1件を含み、発行済みの23件を所掌している。なお、改正以外の理由で廃止された規格は無い。

・ISO14490-5望遠鏡試験方法第5部透過率、14490-6同第6部ベイリンググレア指数の翻訳JIS作成について、JSA公募制度に応募し、いずれも2021年12月20日に発行された。

・ISO 14490-9:2019とISO 14490-10:2021の翻訳JIS作成について、JSA公募制度に応募し、規格案作成中。

4.1.3 (2) 会議

2021年10月15日 [国内委]

-翌週に開催されるSC4及びSC4/WG2会議の対処方針について議論。

-JIS規格の作成状況について確認。

2021年10月19, 20日 [SC4会議及びSC4/WG2国際会議 (WEB)] (詳細は別添報告参照)

-規格の構成について引き続き議論することとされた。ロードマップが重要である。

-一般品と高性能品の規格が分かれていることについて再検討が必要とされた。

-ナイトビジョン3規格 (14132-5、21094、14490-8) のWD原案の進行状況の確認。ナイトビジョンに次いで、サーマル装置についての規格についても今後検討したい。

その他、ISO投票等について、随時メール審議を行った。

4.1.4 (3) ISO投票

2021年4月 [FIDS投票及び結果] (JISCの投票は下線部)

- ISO 14490-5 望遠鏡試験方法 (第5部: 透過率)

(メ切5/14、賛成8 (うちコメント3)、反対0、棄権1) Approved

- 4月 [SR投票及び結果] (JISCの投票は下線部)
 - ISO 14133-1:2016 単眼鏡双眼鏡特性(一般品)
(メ切9/2、賛成5、修正1、棄権3) Approved
 - ISO 14133-2:2016 単眼鏡双眼鏡特性(高性能品)
(メ切9/2、賛成5、修正1、棄権3) Approved
- 10月 [CIBコメント投票及び結果] (JISCの投票は下線部)
 - ISO 14132-5:2008 望遠鏡用語(第5部:ナイトビジョン)
(メ切12/15、コメントあり2、コメント無し6、棄権2)
 - ISO 21094:2008 ナイトビジョン特性
(メ切12/15、コメントあり3、コメント無し5、棄権2)
- 10月 [SR投票及び結果] (JISCの投票は下線部)
 - ISO 14490-7:2016 望遠鏡試験方法(第7部:分解能限界)
(メ切2022/3/4、コメント無し7、棄権3)
- 2022年 4月 [SR投票] (JISCの投票は下線部)
 - ISO 20711:2017 望遠鏡試験方法(試験環境)
(メ切2022/9/2、未投票)

4.1.5 3. これまでに日本で原案を作成した規格

- ISO 14132-4 望遠鏡用語(第4部:天体望遠鏡)
- ISO 14134 天体望遠鏡特性(一般品と高性能品の2規格を統一)
- ISO 14490-4 望遠鏡試験方法(第4部:天体望遠鏡)

4.1.6 4. 今後の国際会議予定

TC172/SC4国際会議が令和3(2021)年10月19日に、TC172/SC4/WG2国際会議が同20日にWeb会議にて開催され日本からも参加した。会議では、2022年春(5月ころ?)にWeb会議でWG2を開催し、コロナの状況によるが秋に対面でSC4(含むWG2)会議をベルリンまたはアメリカで開催を検討すると決議されたが、前者については今のところ開催予定はない。

4.1.7 規格の審議状況、ISO/TC172/SC4/WG2会議(WEB会議)は別紙を参照願います。

4.2 ホームページ関連事業

令和2年度事業報告・収支報告、及び令和3年度事業計画・収支予算書(6月)、財務省統計(3ヶ月毎更新)、イベント関連(JBF)、検査工具機器在庫情報の更新、役員名簿、会員情報の更新をおこなった。
また、昨年開設したギャラリーページでは、天体(皆既日食、スーパームーン、金星食、オリオン大星雲・その他(秩父紅)、野鳥(ツグミ、ケアシノスリ)などを追加した。

4.3 イベント関連事業

4.3.1 経済産業省こどもデー2021

新型コロナウイルスの影響でON LINE開催になったが、準備の関係で出展は見送った。

4.3.2 野鳥関係 ジャパンバードフェスティバル(JBF2021)

新型コロナウイルス感染症のため2年連続ON LINE開催となった。
会期:令和3年11月6日(土)~7日(日)、ON LINE開催、会場:千葉県我孫子市水の館3階他
主催:ジャパンバードフェスティバル実行委員会(事務局は我孫子市)
実行委員会:コロナ禍影響ので書面審議、オンライン、対面にて審議された。令和3年4月21日(書面)、7月7日(書面)、8月12日(zoom)、10月6日(書面)、11月25日(対面)、2月15日(書面)

4.3.2 CP+2022

新型コロナウイルス感染症のためON LINE開催のみとなったが、参加は見送った。

4.4 調査広報事業

4.4.1 公式発表されている財務省関税局輸出入通関統計(双眼鏡、単眼鏡、ライフルスコープ等)をホームページに掲載すると共に会員向けには会報内に掲載。なお、会員企業による自主統計は継続中。

4.4.2 国内外の市場・流通動向:諸統計にて掲載。

4.4.3 イベント案内:ホームページに掲載すると共に会員向けには会報(電子メール)にてお知らせした。

4.4.4 事業成果の普及:通常総会にて承認後、ホームページに掲載した。

4.5 関連団体提携事業

4.5.1 軽機械センター運営協議会への参画事業:中国・欧州情報収集

- ・①令和3年8月5日(木)CiscoWebexによる幹事会に出席した。令和3年決算書を審議し承認された。
- ・経産省・安田課長ご講演、欧州駐在の長宗代表による講演を聴講した。
- ・②令和4年3月24日(木)CiscoWebexによる幹事会に出席した。令和4年予算書審議し承認された。
- ・経産省・安田課長ご挨拶、北京駐在の國峯代表による講演を聴講した。
- ・会員構成:ビジネス機械・情報システム産業協会、日本機械輸出組合、JETRO、日本時計協会、カメラ映像機器工業会、日本縫製機械工業会、日本望遠鏡工業会

4.5.2 日本光学工業協会への事業運営参加 於:機械振興会館

- ・国際標準化規格、JIS関連、技能検定等々、TC172活動報告の発行
- 6月10日(木)役員会(事業報告&会計報告、事業計画&収支予算書)に出席した。
- 10月29日(水)研修会、12月22日(水)、令和4年1月27日(木)情報交換会に出席した。
- ・会員構成:日本顕微鏡工業会、日本光学測定機器工業会、日本医用光学機器工業会、(一社)カメラ映像機器工業会、(一社)日本測量機器工業会、(一社)日本写真映像用品工業会、(一社)日本望遠鏡工業会

4.5.3 (一社)日本写真映像用品工業会との業務提携:情報共有、及び会員に用品年鑑を配布した。

- ・6月2日(水)オンラインセミナーを聴講した(講師:元トヨタ)。於:用品工業会(ホスト)
- 6月15日(火)Photonext2021を見学した。於:パシフィック横浜
- 12月9日(木)定時総会に出席した。於:グランドアーク半蔵門
- 令和4年1月12日(水)写真4団体新年会に出席した。於:経団連会館

4.5.4 (一社)天体望遠鏡博物館(四国東さぬき市)との業務提携:情報共有をおこなった。

- ・1月8日(月)天体望遠鏡に関する統計について情報交換した。

4.5.5 日本天文協議会(2010年9月9日発足)への参画:平成28年(2016年)2月18日付で入会。

- ・令和4年(2022年)2月16日(水)、持続可能な発展のための国際基礎科学年2022(IYBSSD2023)について、関連するシンポジウムやイベント等の開催と、賛同団体等として望遠鏡工業会を登録した。
- ・日本天文協議会(抜粋):世界天文年2009の成果を引き継ぎ、日本の天文研究、普及・アマチュアが一体となって、天文と科学の理解を日本の社会に広げるための合同組織(会長:渡辺潤一 副会長)。
- ・会員構成:日本天文学会、自然科学研究機構 国立天文台、宇宙航空研究開発機構、天文教育普及研究会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、日本天文愛好者連絡会、星空を守る会、日本望遠鏡工業会

4.6 経営環境関連事業

4.6.1 研修会開催事業(技術委員会主催):コロナ禍の影響で開催は見送られた。

4.6.2 部会活動事業(業界活性化委員会):コロナ禍の影響で開催は見送られた。

4.6.3 災害対策用品・飲食用の備蓄品を購入、整備した。

4.6.4 リモート会議用としてZoomを1年契約更新中(理事会、総務広報委員会、JIS原案作成委員会ほか)。

5. 検査・測定機器

5.1 検査依頼:合計44件(令和2年度43件、令和元年度33件)

双眼鏡試験(10件)、検定・校正(視度24件、光軸3件、他2)、分光透過率(3件)、他証明書発行2件

5.2 検査器具販売:合計70件(令和2年度227件、令和元年度121件)

視度望遠鏡56本(令和2年度216本、令和元年度109本)、ダイナメーター低倍3個、ハロゲンランプ10個。

6. 行政府機関等への調査協力

6.1 経済産業省産業機械課:セーフティネット保証5号、分類番号2751:顕微鏡・望遠鏡 主力のプリズム式双眼鏡に関して、自主統計(協力企業)をもとに生産金額のデータを提出している。

6.2 東京都産業労働局商工部経営支援課:東京都概要調及び業種別動向調査、12月7日回答済み。

動向調査期間:令和2年10月~令和3年9月、概要調:令和3年10月末

・中小企業支援事業:コロナ禍の影響のため書類配布となった。